

TRUSCO[®]

第61期 決算データ分析資料

令和5年(2023)12月期 第1四半期

発行元: **トラスコ中山株式会社** (証券コード:9830)

※「苦は去れ」と覚えてください

経営管理本部 経営企画部 広報IR課

〒105-0004 東京都港区新橋四丁目28番1号 トラスコフィオリートビル10F

TEL:03-3433-9840 FAX:03-3433-9881

E-mail: info@trusco.co.jp

目次

01. 会社案内 P.3

会社概要
ビジネスフロー

02. 全社経営実績 P.6

決算ハイライト
【連結】経営成績
【連結】月次売上高
【連結】セグメント別月次売上高

03. 販売実績 P.11

【連結】セグメント別実績
【親単体】商品分類別売上高増減グラフ
【親単体】商品分類別売上高
【親単体】プライベート・ブランド(PB)商品売上高

本資料には、将来の業績見通しおよび事業計画に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化等により、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、当社は現時点での最新情報に更新する義務を負っていません。

04. 財務等実績 P.20

【連結】販売費及び一般管理費
【連結】販売費及び一般管理費 詳細
【連結】財務諸表・財務指標
【連結】設備投資一覧
今期の主な設備投資

05. 各種重要指標 P.26

デジタル／商品／販売／物流／人事

06. 経営計画 P.33

【連結】四半期ごとの実績・予算(四半期)
【連結】四半期ごとの実績・予算(累計)
3か年経営計画
ありたい姿ー能力目標ー

07. ESG情報 P.38

TRUSCO「やさしさ、未来へ」プロジェクト
サステナビリティに関する指標
その他、環境に関する施策や取組
社会との関わり・コーポレートガバナンス

08. 参考情報 P.44

株式情報
業界での指数比較
当社売上高指数・鋳工業生産指数

01

会社案内

会社概要

ビジネスフロー

会社概要

会社名	トラスコ中山株式会社
創業	昭和34年(1959)5月15日
代表者	代表取締役社長 中山 哲也 公益財団法人 中山視覚福祉財団 理事長 全日本機械工具商連合会 副会長 大阪機械器具卸商協同組合 理事長
本社事務所	東京本社(東京都港区・本店登記) 大阪本社(大阪市西区)
拠点数	計94か所 国内拠点89か所(本社2か所、国内営業拠点59か所、国内物流拠点28か所) 海外拠点5か所(現地法人:トラスコナカヤマ タイランド、トラスコナカヤマ インドネシア、 仕入先開拓オフィス:ドイツ、台湾、タイ)
資本金	50億2,237万円
証券取引所	東証プライム(証券コード:9830)
従業員数	2,963名(連結)
格付状況	シングル A (株式会社格付投資情報センター)
事業内容	生産現場で必要とされる作業工具、測定工具、切削工具をはじめ、あらゆる工場用副資材(プロツール)の卸売業。総合カタログ「トラスコ オレンジブック」、検索サイト「トラスコ オレンジブック.Com」によりモノづくり現場の資材調達の利便性向上を使命に企業活動を行う。

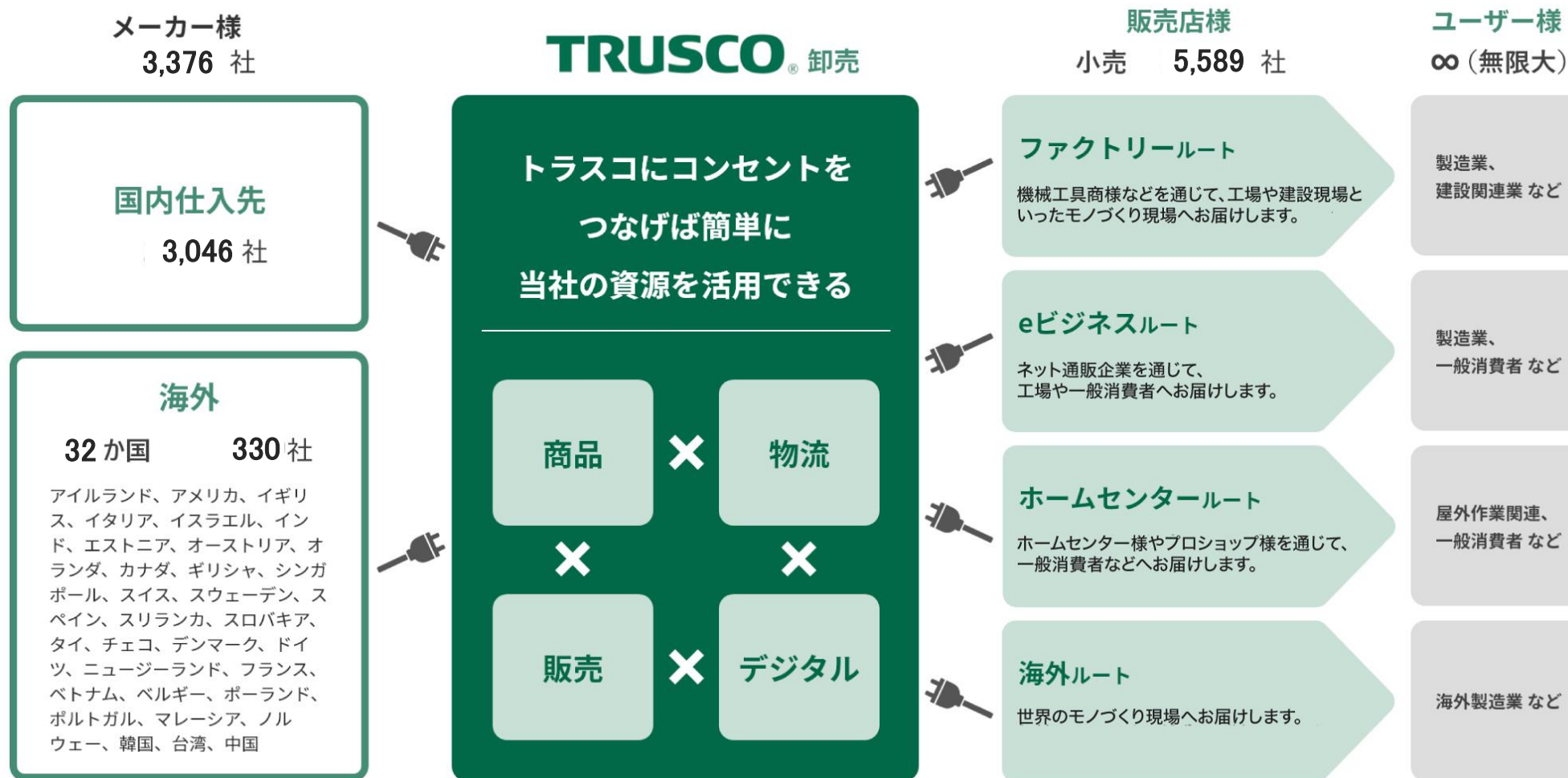
企業メッセージ

「がんばれ!!日本のモノづくり」®



東京本社 トラスコフィオリートビル(東京都港区)

ビジネスフロー



02

全社経営成績

決算ハイライト

【連結】経営成績

【連結】月次売上高

【連結】セグメント別月次売上高

決算ハイライト

第61期 第1四半期の実績について

【実績】

売上高: 659億83百万円(前年同期比+7.9%)、売上総利益率: 20.1%(前年同期比 Δ 1.0pt)

販売費及び一般管理費: 93億19百万円(前年同期比 Δ 0.8%)、営業利益: 39億15百万円(前年同期比+12.3%)

親会社株主に帰属する四半期純利益: 26億75百万円(+5.6%)

- ・海外経済の減速による需要の下振れなど厳しい状況の中、当社の物流、デジタルの仕組みや各種取組みにより売上高増加に繋がりました。
- ・仕入れ価格上昇による販売価格転嫁のタイムラグなどにより売上総利益率が前年同期比 Δ 1.0ptとなりましたが、販売費及び一般管理費が減少し、増益となりました。

第61期通期の見通しについて

【予算】

売上高: 2,650億90百万円(前年比+7.6%)、売上総利益率: 20.9%(前年比 Δ 0.3pt)

販売費及び一般管理費: 396億50百万円(前年比+5.8%)、営業利益: 157億00百万円(前年比+7.0%)

親会社株主に帰属する当期純利益: 109億20百万円(+2.8%)

- ・海外経済減速への警戒感から引き続き慎重とならざるを得ない状況ではありますが、全国28か所の物流センターに保有する多数の在庫と最先端の物流機器、商品データを活用し利便性向上による売上高増加を目指します。

【連結】経営成績

	令和4年(2022)12月期 通期		令和5年(2023)12月期 第1四半期				令和5年(2023)12月期 通期予算	
	実績	構成比	実績	構成比	前年同期比	予算比	予算	前年比
売上高	2,464億53百万円	—	659億83百万円	—	+7.9%	+0.1%	2,650億90百万円	+7.6%
売上総利益	521億60百万円	21.2%	132億34百万円	20.1%	+2.7%	△3.1%	553億50百万円	+6.1%
販売費及び一般管理費	374億93百万円	15.2%	93億19百万円	14.1%	△0.8%	△4.1%	396億50百万円	+5.8%
(うち減価償却費)	66億67百万円	2.7%	15億45百万円	2.3%	△7.3%	△0.6%	63億97百万円	△4.1%
営業利益	146億67百万円	6.0%	39億15百万円	5.9%	+12.3%	△0.6%	157億00百万円	+7.0%
経常利益	150億65百万円	6.1%	39億72百万円	6.0%	+8.2%	△0.2%	159億70百万円	+6.0%
親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益	106億26百万円	4.3%	26億75百万円	4.1%	+5.6%	△1.6%	109億20百万円	+2.8%
1株当たり当期(四半期)純利益	161円15銭	—	40円58銭	—	+2円14銭	△65銭	165円60銭	+4円45銭
1株当たり配当金	40円00銭	—	—	—	—	—	41円50銭	+1円50銭
PB売上高	458億76百万円	18.6%	121億22百万円	18.4%	+5.8%	△2.9%	500億00百万円	+9.0%
設備投資額	47億99百万円	—	37億95百万円	—	—	—	136億97百万円	—

ポイント

・売上高

前年同期比+7.9%、予算比+0.1%
物流、デジタルの仕組みや各種取組みによる売上高増加

・売上総利益率

前年同期比△1.0pt
仕入れ価格上昇による販売価格転嫁のタイムラグなどによる影響

・販売費及び一般管理費

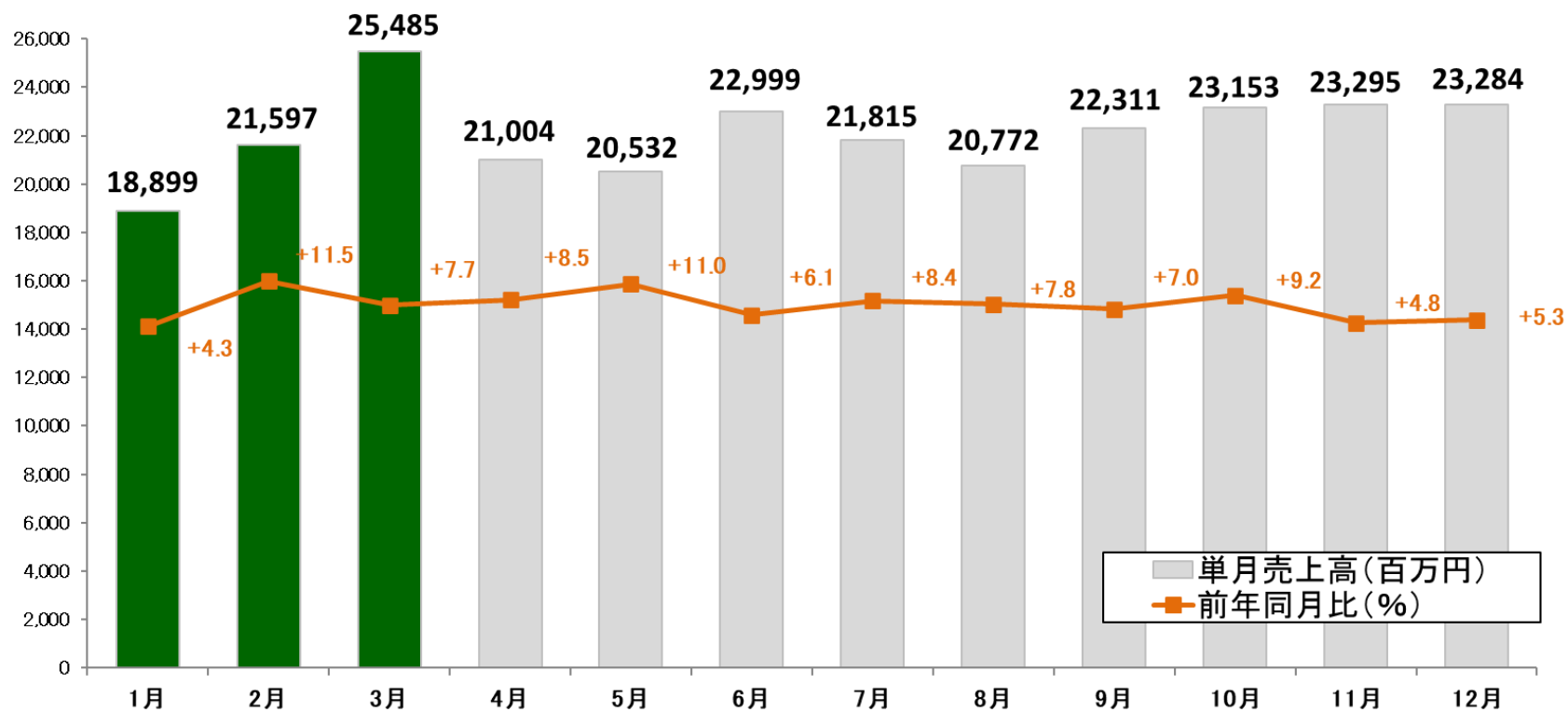
前年同期比△0.8%、予算比△4.1%
(増加)運賃及び荷造費、水道光熱費 など
(減少)減価償却費 など

・親会社株主に帰属する四半期純利益

前年同期比+5.6%、予算比△1.6%

【連結】月次売上高

3月に単月売上高過去最高の25,485百万円、1日あたり売上高1,158百万円となりました。



・製造現場で使用されている消耗品は日々コンスタントに注文されるため、当社は1日当たりの売上高を重視しています。また、多くの企業の決算月である3月は売上高が大きい繁忙期となっています。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
営業日数(日)	19	19	22	20	20	22	20	22	20	21	20	21	246
前年同月比(日)	+1	+1	±0	±0	+1	±0	±0	±0	±0	+1	±0	△1	+3
1日あたり売上高(百万円)	995	1,137	1,158										-
前年同月比(%)	△ 1.2	+ 5.6	+ 7.7										-

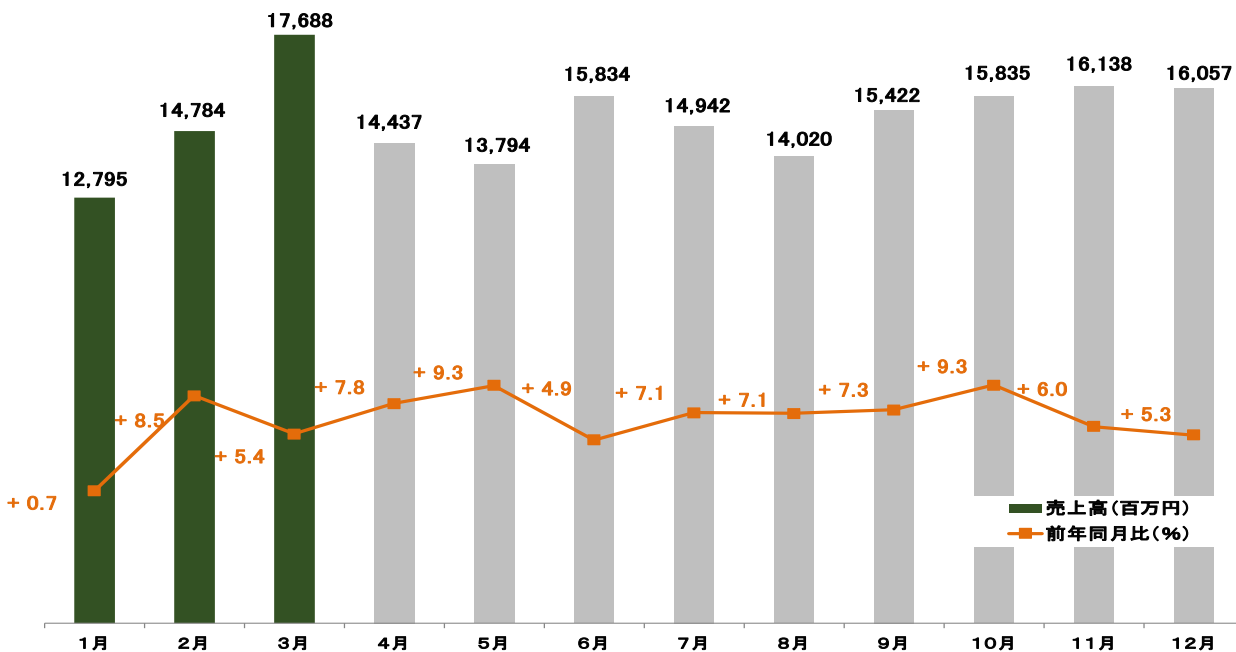
※令和4年4月1日より、休日をカレンダー通りに変更したため、営業日数が前年と比較し増加しております。

【連結】セグメント別月次売上高

※令和4年4月1日より、休日をカレンダー通りに変更したため、営業日数が前年と比較し増加しております。

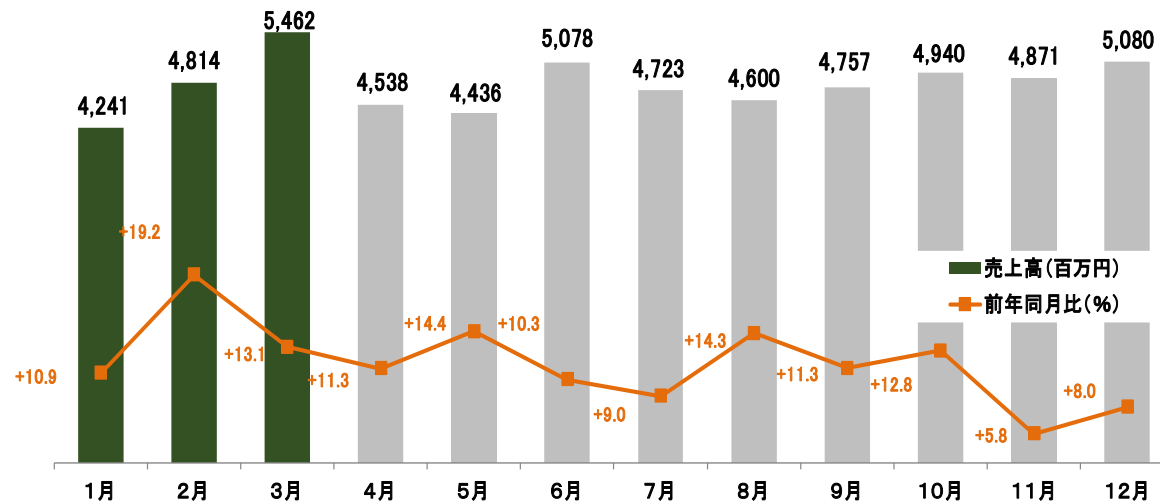
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
営業日数	19	19	22	20	20	22	20	22	20	21	20	21	246
前年同期比	+1	+1	±0	±0	+1	±0	±0	±0	±0	+1	±0	△1	+3

ファクトリールート

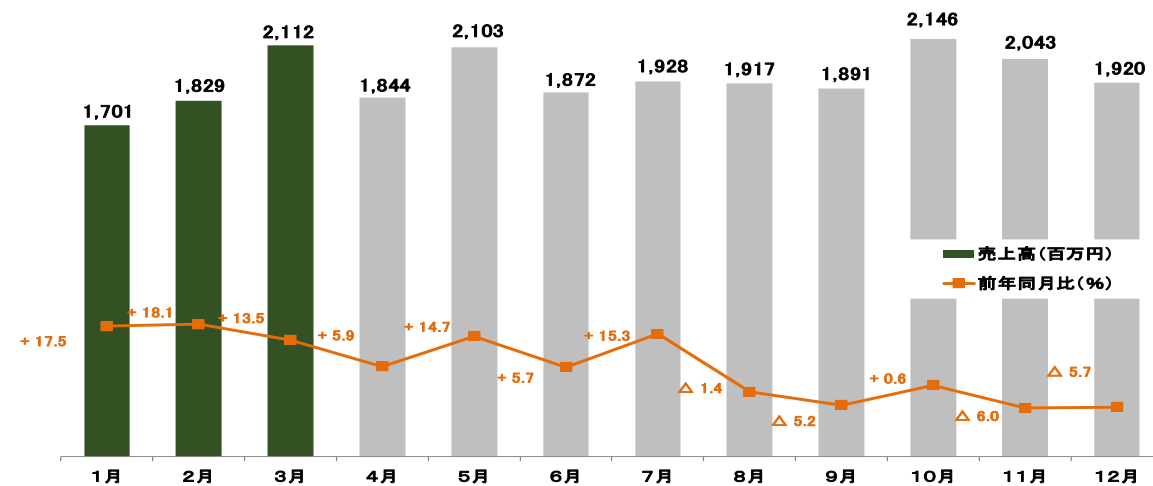


TRUSCO

eビジネスルート



ホームセンタールート



03

販売実績

【連結】セグメント別実績

- ・ファクトリールート
- ・eビジネスルート
- ・ホームセンタールート
- ・子会社業績

【親単体】商品分類別売上高増減グラフ

【親単体】商品分類別売上高

【親単体】プライベート・ブランド(PB)商品売上高

【連結】セグメント別実績

ファクトリールート: 構成比68.6%(前年同期比+5.0%) eビジネスルート: 構成比22.0%(前年同期比+14.4%)

ホームセンタールート: 構成比8.6%(前年同期比+16.2%) 海外ルート: 構成比0.8%(前年同期比+13.1%)

	令和4年(2022)12月期 通期			令和5年(2023)12月期 第1四半期						令和5年(2023)12月期 通期予算	
	売上高		売上総利益率	売上高				売上総利益率		売上高	
販売ルート	実績	構成比	実績	実績	構成比	前年同期比	予算比	実績	前年同期比	予算	前年比
ファクトリールート	1,706億06百万円	69.2%	21.2%	452億68百万円	68.6%	+5.0%	△1.7%	20.4%	△0.4pt	1,825億55百万円	+7.0%
eビジネスルート	515億76百万円	20.9%	22.1%	145億18百万円	22.0%	+14.4%	+4.1%	20.1%	△2.4pt	569億67百万円	+10.5%
ホームセンタールート	221億62百万円	9.0%	17.4%	56億43百万円	8.6%	+16.2%	+5.5%	16.0%	△1.8pt	230億14百万円	+3.8%
海外ルート	21億08百万円	0.9%	35.8%	5億52百万円	0.8%	+13.1%	△2.2%	34.5%	△1.8pt	25億51百万円	+21.0%
全社合計	2,464億53百万円	100%	21.2%	659億83百万円	100.0%	+7.9%	+0.1%	20.1%	△1.0pt	2,650億90百万円	+7.6%

【連結】セグメント別実績（ファクトリールート）

機械工具商様などを通じて、工場や建設現場といったモノづくり現場へ商品をお届けするルートです。製造業の景況感はコロナ前に戻っていない中、豊富な在庫を保有することや各種取り組みを実施することで、売上高は前年同期比+5.0%となりました。

販売ルート	令和4年（2022）12月期 通期			令和5年（2023）12月期 第1四半期				
	売上高		売上総利益率	売上高			売上総利益率	
	実績	構成比		実績	構成比	前年同期比	実績	前年同期比
機械工具商	869億08百万円	50.9%	21.9%	226億44百万円	50.0%	+3.6%	20.8%	△0.3pt
溶接材料商	242億06百万円	14.2%	20.2%	63億89百万円	14.1%	+6.9%	19.8%	△0.5pt
その他製造業関連 （理化学・伝導機・梱包材商など）	279億42百万円	16.4%	19.9%	75億71百万円	16.7%	+5.0%	19.3%	△0.8pt
建設関連	315億48百万円	18.5%	21.1%	86億63百万円	19.2%	+7.3%	20.4%	△0.7pt
ファクトリールート合計	1,706億06百万円	100.0%	21.2%	452億68百万円	100.0%	+5.0%	20.4%	△0.4pt

ポイント

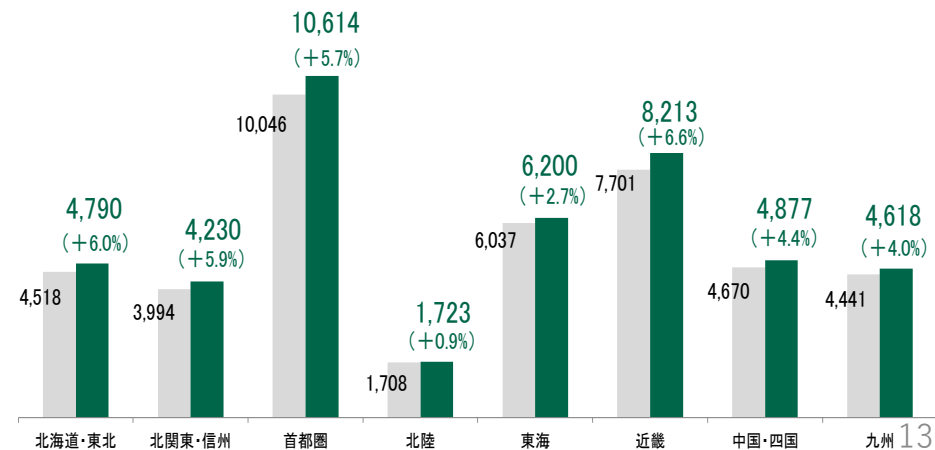
・豊富な在庫を保有することで、得意先様への即納体制、ワンストップ購買が可能になると同時に、複数のご注文品を一つの箱にまとめて出荷する「ニアワセ（荷物合わせ）」も可能となりました。

・工場内でいつでも商品調達が可能となる「MROストックカー」や修理工房「直治郎」の取り組みの強化など、環境負荷軽減につながる営業活動を実施しました。

■ 令和4年（2022）第1四半期フルート売上高（百万円）

■ 令和5年（2023）第1四半期フルート売上高（百万円）

（ ）前年同期比

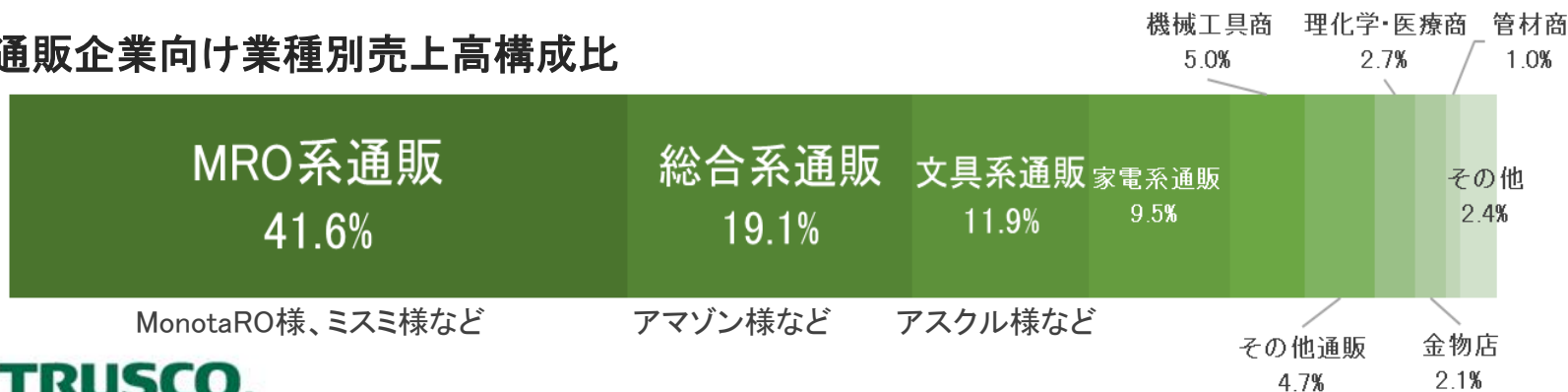


【連結】セグメント別実績（eビジネスルート）

ネット通販企業様を通じて、工場や一般消費者へ商品をお届けするルートです。
商品データとシステム連携、ご要望に合わせた物流加工により、利便性向上を実現し、
売上高は前年同期比+14.4%となりました。

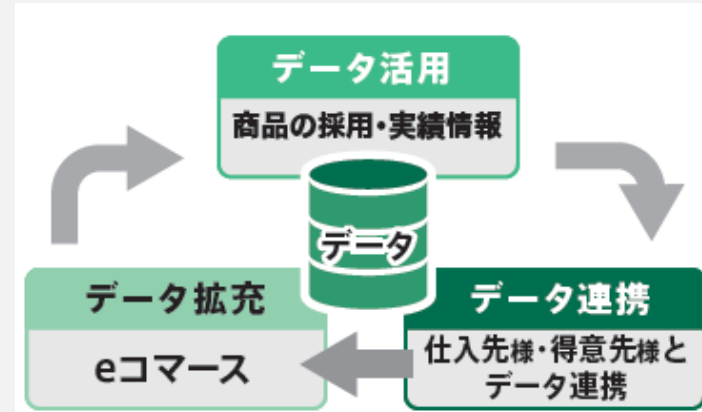
販売ルート	令和4年(2022)12月期 通期			令和5年(2023)12月期 第1四半期				
	売上高		売上 総利益率	売上高			売上 総利益率	
	実績	構成比	実績	実績	構成比	前年 同期比	実績	前年 同期比
通販企業向け	401億48百万円	77.8%	20.9%	109億71百万円	75.6%	+12.2%	18.8%	△2.7pt
オレンジコマース(電子購買) 連携企業向け、MROストックカー	114億28百万円	22.2%	26.3%	35億47百万円	24.4%	+21.6%	24.4%	△1.6pt
eビジネスルート合計	515億76百万円	100.0%	22.1%	145億18百万円	100.0%	+14.4%	20.1%	△2.4pt

通販企業向け業種別売上高構成比



ポイント

・約331万アイテムに及ぶ商品データベースの整備とシステム連携の強化また、通販会社様・電子購買連携企業様それぞれのご要望にお応えした物流対応により利便性向上を実現し、当社へのご注文が大きく増加しました。

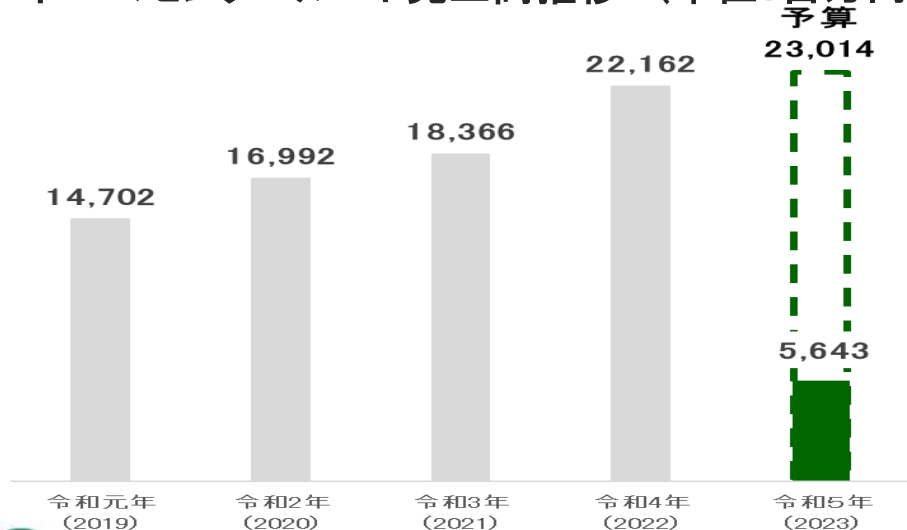


【連結】セグメント別実績（ホームセンタールート）

ホームセンター様やプロショップ様を通じて、一般消費者などへ商品をお届けするルートです。各社EC事業を強化されていることから、当社の約57万アイテムの在庫と物流力を活用したサービスを積極的に提案し、売上高は前年同期比+16.2%となりました。

	令和4年(2022)12月期 通期		令和5年(2023)12月期 第1四半期			
	売上高	売上総利益率	売上高		売上総利益率	
	実績	実績	実績	前年同期比	実績	前年同期比
ホームセンタールート	221億62百万円	17.4%	56億43百万円	+16.2%	16.0%	Δ1.8pt

ホームセンタールート売上高推移（単位：百万円）



ポイント

店舗とECの連携した取組みによる新規での商品納入権獲得及び商流集約や、当社との親和性の高いプロの職人さんや工員さんをターゲットにした店舗であるプロショップでの売上が増加しました。

・当社の約331万に及ぶ取扱いアイテム数と約57万アイテムの即納在庫を活用していただき、店舗の品揃えやECサイトの充実を図り、引き続き売上拡大を予想しています。

【連結】セグメント別実績（子会社業績）

在庫アイテムの見直しや現地得意先様及び仕入先様の開拓を進めることで販売活動を強化しました。

	トラスコ中山 親単体				トラスコナカヤマ タイランド				トラスコナカヤマ インドネシア			
	令和5年(2023)12月期 第1四半期			通期予算	令和5年(2023)12月期 第1四半期			通期予算	令和5年(2023)12月期 第1四半期			通期予算
	金額	率	前年同期比	前年比	金額	率	前年同期比	前年比	金額	率	前年同期比	前年比
売上高	658億29百万円	—	+7.9%	+7.4%	2億28百万円	—	+17.8%	+13.3%	1億21百万円	—	+9.3%	+33.9%
売上総利益	131億34百万円	20.0%	+2.7%	+6.1%	60百万円	26.6%	+27.0%	+19.9%	40百万円	33.2%	+25.1%	+31.6%
販売費及び一般管理費	92億42百万円	14.0%	△0.9%	+5.7%	39百万円	17.4%	+5.9%	+6.3%	38百万円	31.4%	+11.6%	+20.1%
内、減価償却費	15億26百万円	2.3%	△7.5%	△4.2%	5百万円	2.5%	△0.4%	+1.5%	13百万円	10.8%	+4.1%	+18.1%
営業利益	38億91百万円	5.9%	+12.3%	+7.2%	20百万円	9.2%	+104.4%	+79.7%	2百万円	1.8%	—	—
経常利益	39億47百万円	6.0%	+7.9%	+5.8%	21百万円	9.6%	+106.5%	+70.9%	1百万円	1.2%	—	+60.2%
四半期純利益	26億55百万円	4.0%	+5.3%	+2.5%	21百万円	9.6%	+106.5%	+70.9%	1百万円	1.2%	—	+60.2%

その他海外地域への売上高実績 (フィリピン、中国、韓国など)		売上高	売上総利益
	実績	1億98百万円	48百万円
	率	—	24.3%
	前年同期比	+7.9%	+2.7%

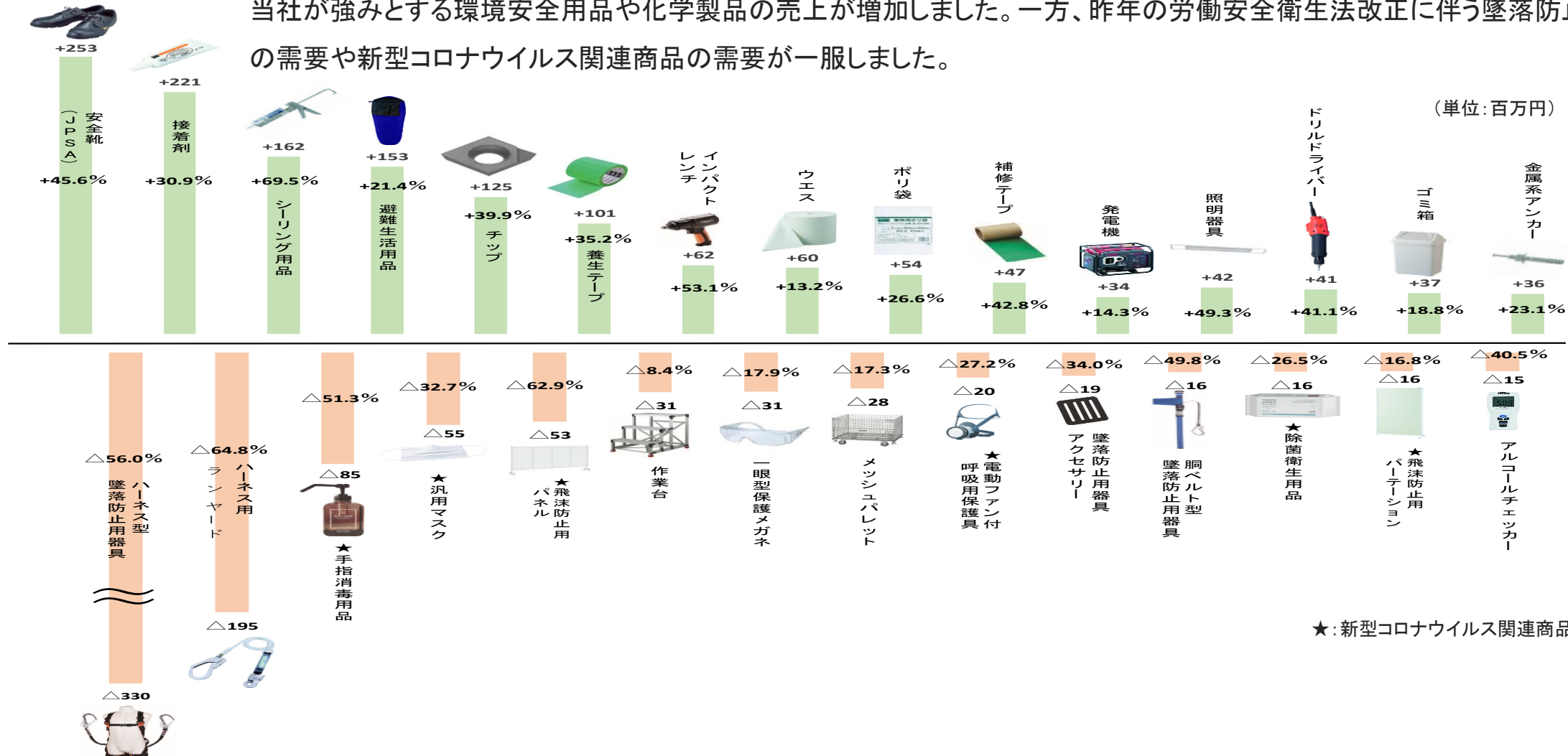
ポイント

- ・タイにおいては現地のトップブランドの独自仕入先様開拓の強化、インドネシアでは在庫アイテムの見直しにより、納品リードタイムの短縮を実施、ローカル企業の新規得意先様との取引で販売領域を拡大しました。
- ・その他海外地域への販売では、アジア太平洋地域を中心にEC企業様との新規口座開設を行うなど、取引拡大に努めました。

【親単体】商品分類別売上高増減グラフ

当社が強みとする環境安全用品や化学製品の売上が増加しました。一方、昨年の労働安全衛生法改正に伴う墜落防止用器具の需要や新型コロナウイルス関連商品の需要が一服しました。

(単位:百万円)



★: 新型コロナウイルス関連商品

【親単体】商品分類別売上高

(単位:百万円、%)

商品分類 (大分類)	中分類	全社売上高	構成比	前年同期比	粗利率	商品分類 (大分類)	中分類	全社売上高	構成比	前年同期比	粗利率
1. 切削工具	切削工具 計	2,084	3.2	+10.6	16.3	6. 環境安全用品	環境安全用品 計	11,175	17.0	+3.0	20.9
	① 切削工具	1,064	1.6	-	11.8		㉕ 保護具	6,002	9.1	-	21.2
	② 穴あけ・ネジきり工具	1,019	1.5	-	20.9		㉖ 安全用品	2,644	4.0	-	24.9
2. 生産加工用品	生産加工用品 計	4,962	7.5	+7.0	14.7		㉗ 環境改善用品	478	0.7	-	18.2
	③ 測定計測	2,612	4.0	-	14.2		㉘ 冷暖房用品	880	1.3	-	13.1
	④ メカトロニクス	1,013	1.5	-	14.3		㉙ 防災・防犯用品	634	1.0	-	18.2
	⑤ 工作機工具	600	0.9	-	23.7	㉚ 物置・エクステリア用品	536	0.8	-	16.1	
	⑥ 電動機械	735	1.1	-	9.7	7. 物流保管用品	物流保管用品 計	7,296	11.1	+3.6	21.8
3. 工事用品	工事用品 計	7,881	12.0	+11.0	20.2		㉛ 荷役用品	2,028	3.1	-	17.1
	⑦ 油圧工具	540	0.8	-	11.4		㉜ コンベヤ	288	0.4	-	15.7
	⑧ ポンプ	971	1.5	-	14.7		㉝ 運搬用品	2,786	4.2	-	21.4
	⑨ 溶接用品	686	1.0	-	15.8		㉞ コンテナ・容器	1,057	1.6	-	28.5
	⑩ 塗装・内装用品	640	1.0	-	24.3	㉟ スチール棚	1,136	1.7	-	26.1	
	⑪ 土木建築	692	1.1	-	13.4	8. 研究管理用品	研究管理用品 計	2,826	4.3	+7.6	22.8
	⑫ はしご・脚立	916	1.4	-	21.7		㉟ ツールワゴン	253	0.4	-	29.8
	⑬ 配管・電設資材	1,273	1.9	-	21.7		㊱ 保管・管理用品	369	0.6	-	29.1
	⑭ 部品・金物・建築資材	2,160	3.3	-	25.6		㊲ 作業台	471	0.7	-	32.2
	4. 作業用品	作業用品 計	12,183	18.5	+11.4		21.0	㊳ ステンレス用品	541	0.8	-
⑮ 切断用品		371	0.6	-	22.0	㊴ 研究開発関連用品	1,189	1.8	-	17.7	
⑯ 研削・研磨用品		1,878	2.9	-	23.1	9. オフィス住設用品	オフィス住設用品 計	5,916	9.0	+3.1	21.8
⑰ 化学製品		6,400	9.7	-	19.9		㊵ 清掃用品	1,710	2.6	-	19.6
⑱ 工場雑貨		1,155	1.8	-	15.4		㊶ 文具用品	718	1.1	-	19.3
⑲ 梱包結束用品		1,568	2.4	-	28.7		㊷ オフィス雑貨	805	1.2	-	26.2
⑳ キャスター		810	1.2	-	17.3		㊸ 電化製品	946	1.4	-	22.5
5. ハンドツール	ハンドツール 計	11,227	17.0	+11.8	18.0		㊹ OA事務用機器	595	0.9	-	22.2
	㉑ 電動工具・用品	3,282	4.9	-	13.8		㊺ 事務用家具	1,072	1.6	-	22.9
	㉒ 空圧工具用品	1,745	2.7	-	17.3	㊻ インテリア用品	67	0.1	-	20.2	
	㉓ 手作業工具	5,644	8.6	-	19.7	10. その他	㊼ 全体	275	0.4	+62.8	14.3
	㉔ 工具箱	555	0.8	-	28.5		合計	65,829	100.0	+7.9	20.0

ポイント

・工事用品:
前年同期比+11.0%
建築金物やアンカーなど多くの商材で売上が増加しました。

・作業用品:
前年同期比+11.4%
特に接着剤やシーリング剤の売上が増加しました。

・ハンドツール:
前年同期比+11.8%
手作業工具や電動工具の売上が増加しました。

【親単体】プライベート・ブランド(PB)商品売上高

プライベート・ブランド「TRUSCO」の商品がさらにモノづくりに貢献し、現場の定番となるよう、引き続き、主力製品の刷新に取り組みます。



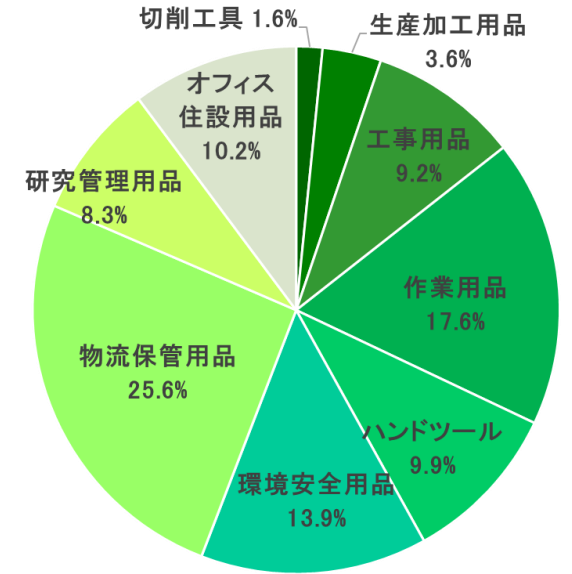
セグメント別・商品分類別売上高

(単位:百万円)

セグメント 商品分類	全体		ファクトリー		eビジネス		ホームセンター	
	構成比	粗利率	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比
	18.4%	34.7%						
合計	12,122	5.8%	8,529	1.7%	3,261	18.8%	254	0.7%
切削工具	189	5.0%	136	1.6%	31	19.3%	18	13.1%
生産加工用品	431	5.5%	307	1.9%	112	16.9%	4	△8.5%
工事用品	1,120	8.5%	772	3.7%	324	21.6%	15	1.7%
作業用品	2,136	9.5%	1,636	6.2%	460	23.0%	21	20.4%
ハンドツール	1,203	7.3%	842	3.4%	313	20.4%	29	△4.9%
環境安全用品	1,691	0.3%	1,217	△3.2%	430	8.4%	38	38.1%
物流保管用品	3,105	5.5%	2,125	2.0%	852	18.6%	118	△7.7%
研究管理用品	1,006	6.8%	675	△1.9%	321	30.7%	1	19.9%
オフィス住設用品	1,236	4.0%	814	△0.1%	414	15.3%	5	△32.6%

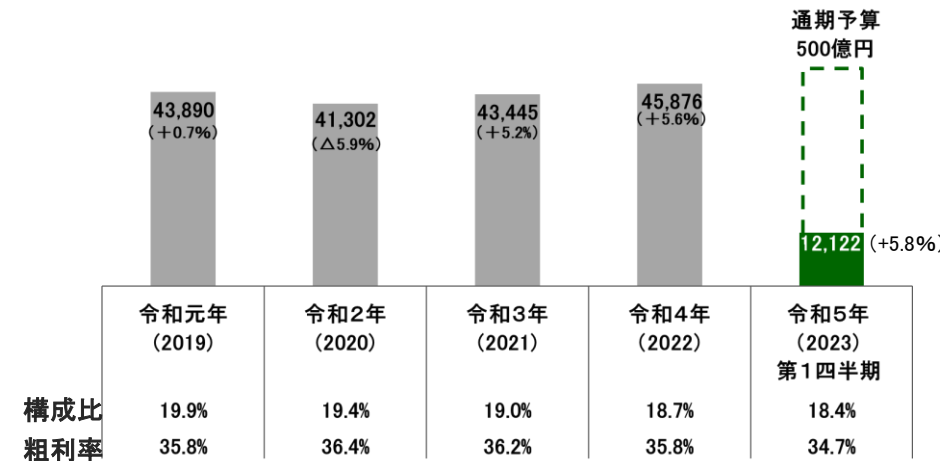
PB商品売上高構成比

令和5年(2023)3月末時点



PB商品売上高推移

(単位:百万円) ()内前年同期比



04

財務等実績

【連結】販売費及び一般管理費

【連結】販売費及び一般管理費 詳細

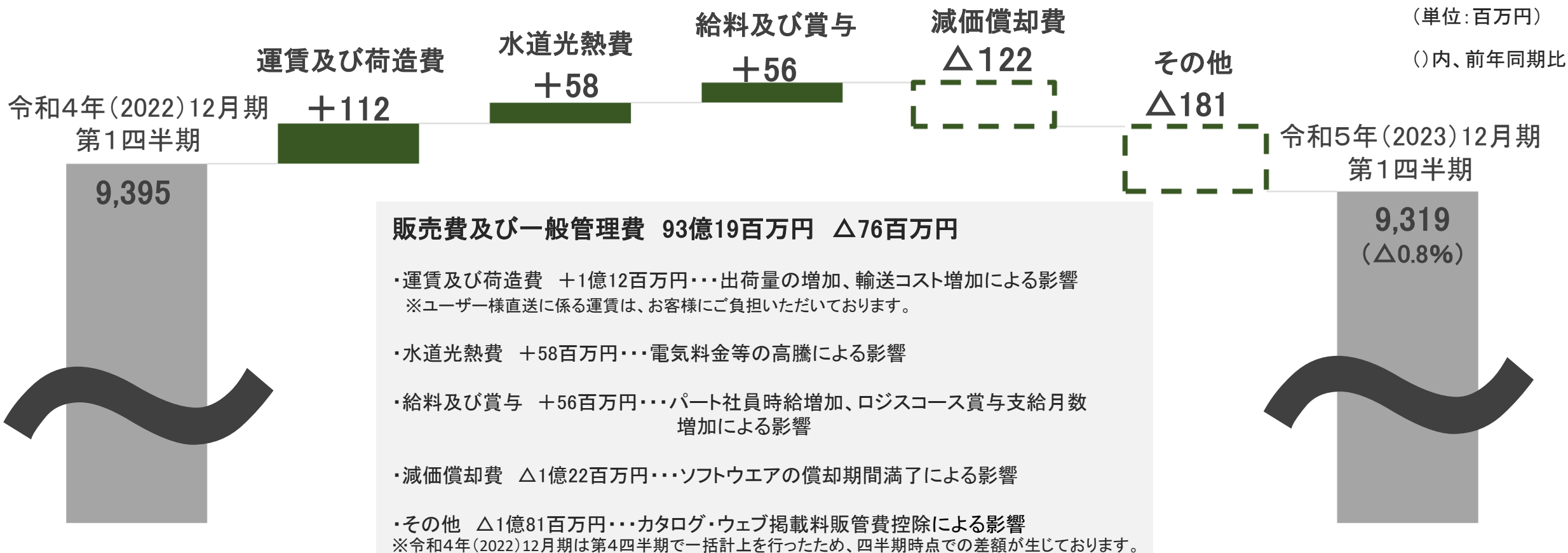
【連結】財務諸表・財務指標

【連結】設備投資一覧

今期の主な設備投資

【連結】販売費及び一般管理費

出荷量増加に伴い運賃荷造費、電気料金等の高騰に伴い水道光熱費が増加しましたが、減価償却費等の減少により、販売費及び一般管理費は前年同期比△0.8%となりました。



【連結】販売費及び一般管理費 詳細

(単位:百万円、%)

No.	令和4年(2022)12月期		令和5年(2023)12月期 第1四半期				令和5年(2023)12月期 通期予算	
	実績	売上高 構成比	実績	売上高 構成比	前年同期 増減額	前年同期比	予算	前年比
1 給料及び賞与	13,036	5.3	2,481	3.8	+56	+2.3	13,355	+2.5
2 運賃及び荷造費	7,630	3.1	1,952	3.0	+112	+6.1	8,579	+12.4
3 減価償却費	6,667	2.7	1,545	2.3	△122	△ 7.3	6,397	△ 4.1
4 賞与引当金繰入額	8	0.0	706	1.1	+39	+5.8	521	+6,226.1
5 支払手数料	2,638	1.1	653	1.0	+30	+4.9	2,674	+1.4
6 福利厚生費	2,343	1.0	597	0.9	+57	+10.6	2,491	+6.3
7 租税公課	1,416	0.6	324	0.5	△76	△ 19.2	1,367	△ 3.5
8 広告宣伝費	505	0.2	176	0.3	+23	+15.6	535	+6.0
9 水道光熱費	537	0.2	164	0.2	+58	+56.0	570	+6.0
10 販売促進費	316	0.1	142	0.2	△99	△ 41.2	286	△ 9.6
11 旅費及び交通費	543	0.2	126	0.2	+3	+2.5	561	+3.3
12 消耗品費	434	0.2	123	0.2	+27	+28.7	491	+13.1
13 通信費	434	0.2	102	0.2	△5	△ 5.5	445	+2.3
14 借地借家料	357	0.1	88	0.1	△0	△ 1.1	360	+0.7
15 役員報酬	401	0.2	74	0.1	+4	+6.1	433	+7.8
16 車両費	283	0.1	69	0.1	+0	+0.9	268	△ 5.3
17 交際費	42	0.0	8	0.0	+1	+24.9	113	+167.7
18 その他	△ 104	△ 0.0	△ 20	△ 0.0	△ 185	-	198	-
計	37,493	15.2	9,319	14.1	△ 76	△ 0.8	39,650	+5.8

【連結】財務諸表・財務指標

貸借対照表

令和5年(2023)3月末時点

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	121,189	流動負債	48,789
現金及び預金	38,589	買掛金	22,316
売掛金	33,775	短期借入金	10,000
電子記録債権	1,542	1年内返済予定の長期借入金	10,000
商品	46,551	未払金	2,363
その他	732	未払法人税等	1,358
貸倒引当金	△ 1	賞与引当金	713
固定資産	107,979	役員賞与引当金	33
有形固定資産	99,926	土壤汚染処理損失引当金	78
建物(純額)	47,583	その他	1,926
機械及び装置(純額)	7,098	固定負債	28,029
工具、器具及び備品(純額)	1,384	長期借入金	25,000
土地	38,610	役員退職慰労引当金	151
建設仮勘定	3,234	長期預り保証金	2,783
その他(純額)	2,014	その他	93
無形固定資産	4,261	負債合計	76,819
ソフトウェア	3,468	(総資産の部)	
その他	792	株主資本	151,876
投資その他の資産	3,791	資本金	5,022
投資有価証券	3,196	資本剰余金	4,711
繰延税金資産	128	利益剰余金	142,222
再評価に係る繰延税金資産	155	自己株式	△ 79
その他	321	その他の包括利益累計額	472
貸倒引当金	△ 10	その他有価証券評価差額金	520
		土地再評価差額金	△ 353
		為替換算調整勘定	305
		純資産合計	152,349
資産合計	229,168	負債純資産合計	229,168

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	令和4年(2022年) 第1四半期	令和5年(2023年) 第1四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,977	4,390	△586
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,928	△3,870	△1,942
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,020	△1,546	△525
現金及び現金同等物に係る換算差額	35	27	△8
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,064	△998	△3,063
現金及び現金同等物の期首残高	41,449	39,400	△2,049
現金及び現金同等物の期末残高	43,514	38,402	△5,112

自己資本比率

	令和4年(2022)末	令和5年(2023) 第1四半期	増減(pt)
自己資本比率	67.1%	66.5%	△0.6

その他財務指標

	令和3年(2021)末	令和4年(2022)末	増減(pt)
ROA(総資産経常利益率)	6.3%	6.7%	+0.4pt
ROE(自己資本利益率)	8.4%	7.2%	△1.2pt

<ROEに対する考え方>

当社では、企業価値向上のための継続的な投資をすることで利益を拡大し、長期的かつ安定的に上昇させることが重要だと考えています。お客様の利便性向上を大切に、事業の結果としてROEが高まるというのが本来の姿であると考えています。

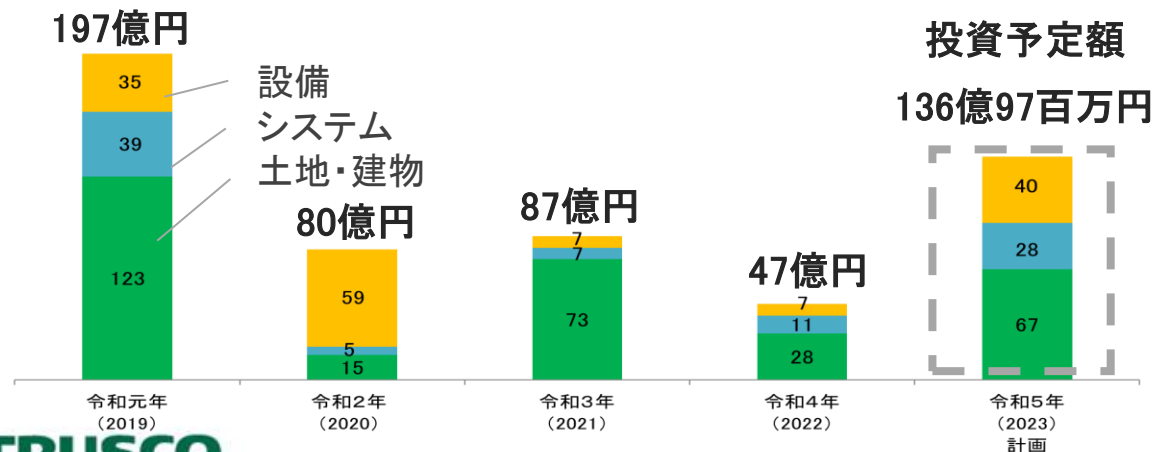
【連結】設備投資一覧

主な設備投資と予定

(単位:百万円)

令和5年(2023) 主な設備投資 内訳		令和5年(2023) 第1四半期 投資実績額	令和5年(2023) 第2-4四半期 投資予定額
設備	プラネット愛知マテハン設備(今期予定額:約23億円)	570	3,486
	プラネット東関東 第2パレット自動倉庫、コンベア(今期予定額:約6億円)		
	堺ストックセンター パレット自動倉庫(今期予定額:約5億円) など		
システム	商品データベース「Sterra2.0」構築(今期予定額:約8億円)	395	2,469
	基幹システム「Paradise」/仕入先ポータル「POLARIO」機能強化(今期予定額:約3億円) など		
土地・建物	本町セントラルビル 改修(今期予定額:約8億円)	2,829	3,948
	プラネット愛知新築計画(今期予定額:約54億円) など		
小計		3,795	9,902
年間設備投資額		13,697	

設備投資額の推移



<設備投資額に関して>

- ・設備投資予定額には、計画中のものも含まれているため、投資額は変動する場合があります。
- ・第61期はキャッシュアウトベースの金額で記載しております。

今期の主な設備投資

プラネット東関東パレット自動倉庫



所在地: 千葉県松戸市

稼働: 令和5年(2023)3月

敷地面積: 4,441坪(プラネット東関東)
延床面積: 8,986坪(プラネット東関東)

総投資額: 約26.8億円(第61期予定額: 約6億円)

新築部分にパレット自動倉庫を設置することで新たに4,556パレットの収納が可能となり、商品拡充による即納体制を強化します。

堺ストックセンター



所在地: 大阪府堺市

稼働: 令和5年(2023)4月

敷地面積: 999坪
延床面積: 1,404坪

総投資額: 約18.3億円(第61期予定額: 約5億円)

パレット自動倉庫を設置することで、3,304パレットの収納が可能となり、在庫保管能力の向上による即納体制を強化します。

プラネット愛知



所在地: 愛知県北名古屋市

竣工: 令和6年(2024)11月
稼働: 令和8年(2026)7月 予定

敷地面積: 12,595坪
延床面積: 27,184坪

総投資額: 約288億円(予定)(第61期予定額: 約78億円)

品揃え強化(100万SKU)と「最速」「最短」「最良」のサービスを実現するとともに高効率な物流センターを目指します。

05

各種重要指標

デジタル

商品

販売

物流

人事

重要指標(デジタル)

計画

需要指標		第59期 令和3年12月期(2021)		第60期 令和4年12月期(2022)		第61期 令和5年12月期(2023)	
デジタル	見積自動化率	18.2%	(+10.1)	22.6%	(+4.4)	28.0%	(+5.4)
	WEB見積依頼率	42.7%	(+6.0)	46.0%	(+3.3)	50.0%	(+4.0)
	システム受注率	85.3%	(+1.4)	85.2%	(△0.1)	86.0%	(+0.8)

見積自動化率

25.4%

WEB見積依頼率

45.8%

(2023年3月)

()内は前年比増減

システム受注率

(2023年3月末時点)

受注形態	受注行数 (千行)	行数占有率	行数占有率 前期同期比(pt)	受注金額 (百万円)	金額占有率	金額占有率 前期同期比(pt)
トラスコ オレンジブック.Com (販売店様、ユーザー様用)インターネット受発注	3,839	38.9%	△0.4	28,041	42.6%	△0.2
トラスコEDI 販売店様発注システムとのデータ連携	2,184	22.2%	+1.0	8,868	13.5%	△0.1
オレンジコマース ユーザー様購買システムとの連携	258	2.7%	+0.4	1,985	3.0%	+0.3
EOS ホームセンター電子発注システム	2,162	21.9%	△0.1	5,103	7.8%	+0.3
計	8,445	85.7%	+0.9	43,999	66.8%	+0.3

AI見積「即答名人」[見積自動化率22.6%]

AIを活用し、見積を自動回答

得意先様よりいただく1日平均3万件の見積りに、いかに早く返答するかが課題の一つです。そこで、AIによる自動見積回答システム「即答名人」を導入し、受注・見積実績をもとに、定期的に商品の適正価格を自動計算する特価最適化をすることで見積の自動化を推進。得意先様への回答スピード向上(最短5秒)につなげています。

(見積自動化率22.6%(令和4年(2022)12月末時点))



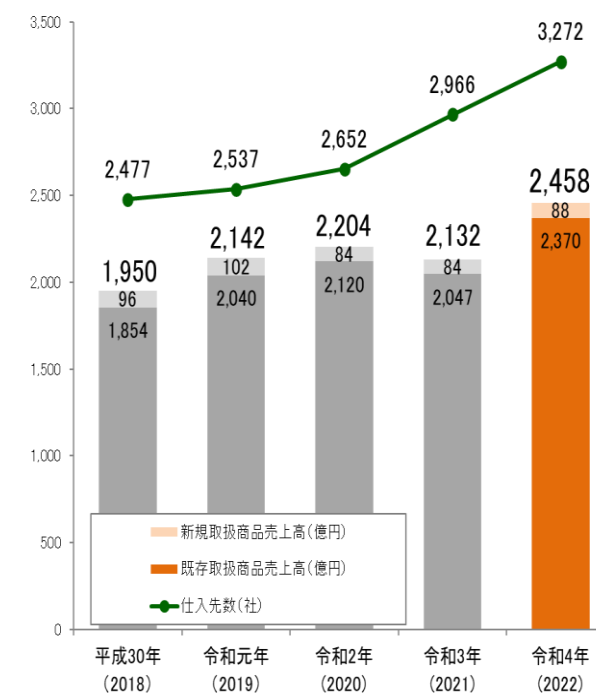
重要指標(商品)

計画

需要指標		第59期 令和3年12月期(2021)	第60期 令和4年12月期(2022)	第61期 令和5年12月期(2023)
商品	トラスコ オレンジブック.com 公開アイテム数(フリーサイト)	2,760,887 アイテム (+423,667)	3,167,188 アイテム (+406,301)	4,200,000 アイテム (+1,032,812)
	総仕入先数	2,966 社 (+314)	3,272 社 (+306)	3,470 社 (+198)
	内) 海外仕入先数	304 社 (+92)	329 社 (+25)	350 社 (+21)
	トラスコ オレンジ ブック			
	掲載メーカー数	1,948 社 (+97)	2,152 社 (+204)	2,320 社 (+168)
	掲載アイテム数	508,000 アイテム (+37,000)	374,000 アイテム (△134,000)	374,000 アイテム (±0)
	トラスコ デジタルオレンジブック 掲載アイテム数	—	374,000 アイテム	444,000 アイテム (+70,000)
	在庫アイテム数	499,964 アイテム (+57,528)	562,026 アイテム (+62,062)	595,000 アイテム (+32,974)
	内) 商品自動採用数(SKU)	7,494 アイテム (+4,529)	26,109 アイテム (+18,615)	41,000 アイテム (+14,891)
	PB商品開発・ブラッシュアップ数	—	—	1,000 アイテム (+1,000)
	在庫総個数	48,787,614 個 (+2,832,108)	53,197,583 個 (+4,409,969)	56,000,000 個 (+2,802,417)
	在庫金額	42,292 百万円	45,292 百万円 (+3,000)	46,400 百万円 (+1,108)

()内は前年比増減

【親単体】全社売上高における
トラスコ オレンジブック新規掲載商品
売上高推移



重要指標(販売)

計画

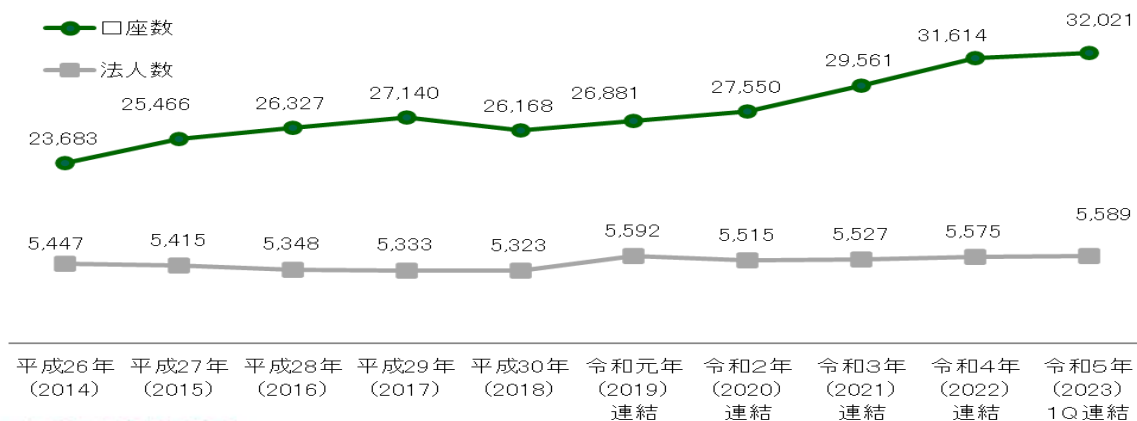
需要指標	第59期 令和3年12月期(2021)	第60期 令和4年12月期(2022)	第61期 令和5年12月期(2023)	
販売	得意先法人数	5,527社 (+12)	5,575社 (+48)	5,630社 (+55)
	得意先口座数	29,561口座 (+2,011)	31,614口座 (+2,053)	32,500口座 (+886)
	オレンジコマース接続企業数	2,042社 (+675)	2,233社 (+191)	2,600社 (+367)
	MROストッカー導入数	329件 (+282)	775件 (+446)	1,000件 (+225)
	販売個数	210,032,705個 -	225,781,587個 (+15,748,882)	242,000,000個 (+16,218,413)

倒産による回収不能金額

	回収不能金額(万円)
令和元年(2019)	0
令和2年(2020)	0
令和3年(2021)	275
令和4年(2022)	0
令和5年(2023)1Q	0

()内は前年比増減

【連結】販売口座数及び法人数の推移



MROストッカー導入件数

累計導入件数: 836件(2023年3月末時点)
 導入見込み数: 330件
 1件あたり売上目標: 30万円/月



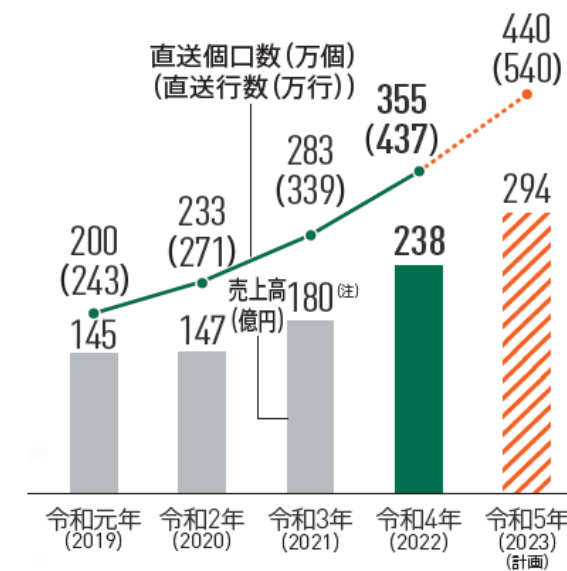
- メリット-
- 管理コスト **0円**
- 納期 **0分**
- 無駄遣い **0個**

重要指標(物流)

計画

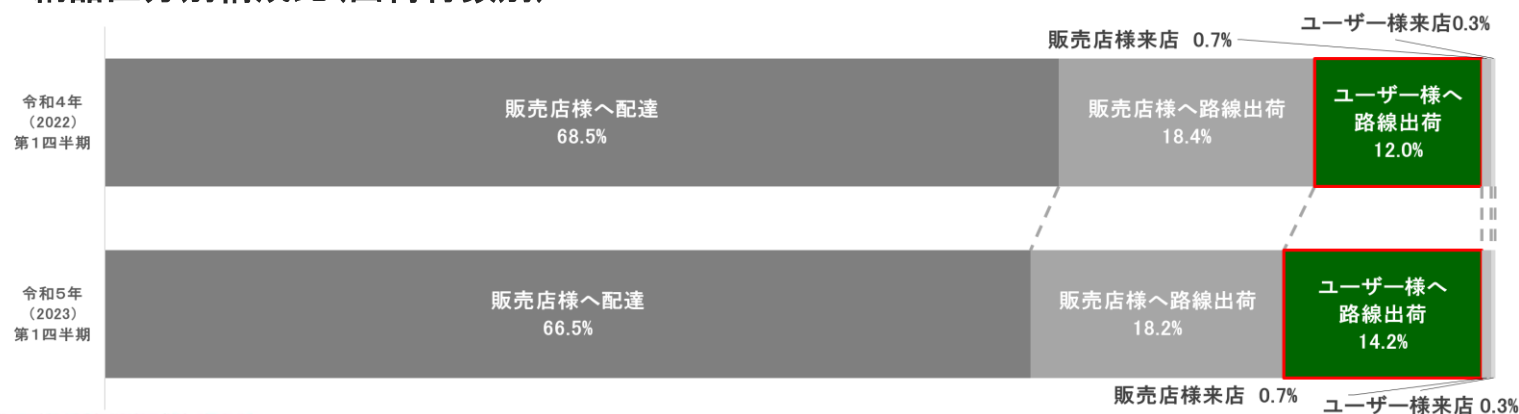
需要指標		第59期 令和3年12月期(2021)	第60期 令和4年12月期(2022)	第61期 令和5年12月期(2023)
物流	ユーザー様直送個口数	2,836,392個 (+603,997)	3,556,388個 (+719,996)	4,400,000個 (+843,612)
	ユーザー様直送行数	3,396,286行 (+677,072)	4,374,725行 (+978,439)	5,400,000行 (+1,025,275)
	入出荷1行当たり人件費	117円 (△7)	113円 (△4)	108円 (△5)
	在庫出荷率	91.3% (+0.3)	91.7% (+0.4)	92.0% (+0.3)
	備車配達便数	161台 (+1)	162台 (+1)	150台 (△12)
	自社配達便数	117台 (+7)	116台 (△1)	124台 (+8)
	自社配達便率	42.1% (+1.4)	41.7% (△0.4)	45.7% (+4.0)
	納品リードタイム (全社、一次+二次引当以降含む、 午前・午後便平均)	20時間6分53秒	20時間10分4秒 (+3分11秒)	—

ユーザー様直送サービスの推移



()内は前年比増減

納品区分別構成比(出荷行数別)



I-Pack®

[高速自動梱包出荷ライン]

出荷能力 : 720CS/h(1ライン)、
約24人分

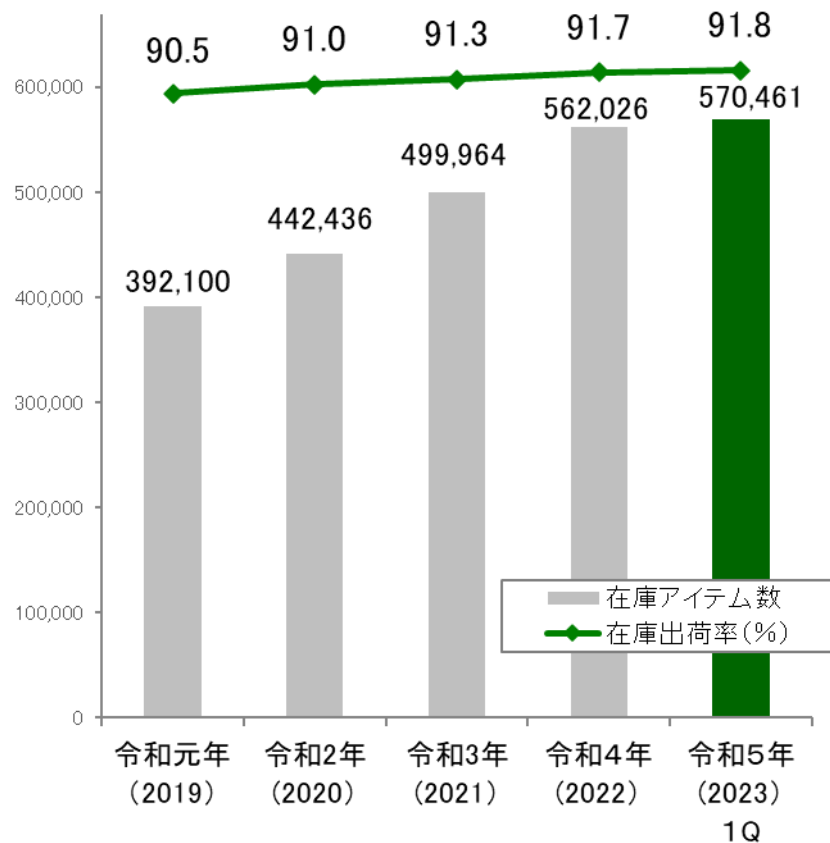
導入センター: プラネット東北、
プラネット埼玉(3ライン)
プラネット東海
プラネット大阪
計6ライン

ーメリットー

納期半減
配送負荷半減
作業負荷半減
梱包資材半減
環境負荷半減

重要指標(物流)

在庫アイテム数と在庫出荷率



【親単体】在庫廃棄金額及び在庫金額の推移

	平成30年(2018)	令和元年(2019)	令和2年(2020)	令和3年(2021)	令和4年(2022)
廃棄金額(百万円)	39	42	50	55	65
在庫金額(億円)	370	427	406	416	441
廃棄率(%)	0.11	0.10	0.12	0.13	0.15

配達便・社内間輸送便 台数

	台数	前期末比
総配達便数	277台	△1台
備車便(契約配達便)	161台	△1台
自社配達便	116台	±0台
社内間輸送便	31台	+1台
備車便(契約便)	26台	±0台
自社便	5台	+1台
配達便・社内間輸送便 計	308台	±0台

配達便について

配送ルートや在庫の社内移動を効率化することで配達便・社内間輸送便の見直しをすすめ、台数の適正化を図っています。

また、お客様へのサービス向上を目指し、自社配達便(当社社員による配達便)の台数を増やしています。現在の自社便率は**41.9%**です。2024年には自社便率を50%まで高めていく予定です。

重要指標(人事)

社員数【連結】 令和5年(2023)3月末現在 (単位:名)

	女	男	合計	前年同期比
役員	1	11	12	+2
執行役員	0	0	0	△1
キャリア(海外・国内)	137	408	545	△12
デジタルキャリア	0	0	0	±0
ロジスキャリア	0	0	0	±0
キャリア(地域)	6	8	14	+12
スペシャリスト	13	14	27	+1
エリア	305	296	601	△6
エキスパート	0	0	0	±0
ロジスエリア	3	24	27	+25
ロジス	82	243	325	△10
契約社員	1	37	38	+1
現地法人	21	23	44	±0
健康保険組合出向者	2	0	2	±0
中山財団出向者	0	1	1	+1
社員計	570	1,054	1,624	+11
パート	974	353	1,327	+31
従業員計	1,545	1,418	2,963	+44

女性社員比率35.1%／女性セールス42人／女性キャリア比率25.6%
 ※パートタイマーの人数は実際の雇用人数

平均年齢・年収

	平均年齢(歳)			平均年収(万円)			
	女	男	全体	キャリア	エリア	ロジス	全体
令和4年(2022)	33.0	43.4	39.8	771	633	494	661
令和3年(2021)	32.8	43.2	39.6	724	596	456	615
令和2年(2020)	32.1	41.9	38.4	721	601	461	619
令和元年(2019)	31.3	42.0	38.2	758	642	492	655
平成30年(2018)	30.9	42.1	38.2	804	680	520	701

※全体平均年収は執行役員を含み、退職金「ファイナンシャルボンド」を除く金額
 ※平成26年度より業績連動型賞与を支給開始。令和元年(2019)より業績連動型賞与中止のため減額。
 ※令和元年(2019)12月期より連結決算開始のため、令和元年(2019)12月期より平均年齢は連結、平均年収は全て単体のデータです。
 ※令和4年(2022)の平均年収には物価高騰による生活支援臨時ボーナスが含まれております。

入社者数および退職者数【連結】

	令和元年(2019)		令和2年(2020)		令和3年(2021)		令和4年(2022)		令和5年(2023)3月末	
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男
社員数(名)	585	1,071	589	1,085	571	1,061	577	1,062	570	1,054
	1,656		1,674		1,632		1,639		1,624	
入社者(名)	52	57	41	46	26	25	47	51	42	47
	109		87		51		98		89	
退職者(名)	42	44	37	33	45	45	39	44	9	8
	86		70		90		83		17	
離職率(%)	6.7	3.9	5.9	3.0	7.3	4.1	6.3	4.0	1.6	0.8
	4.9		4.0		5.2		4.8		1.0	

06

経営計画

【連結】四半期ごとの実績・予算(四半期)

【連結】四半期ごとの実績・予算(累計)

【連結】3か年経営計画

— ありたい姿 — 能力目標 —

【連結】四半期ごとの実績・予算(四半期)

令和5年(2023)12月期 第1四半期【四半期ごと】

(単位:百万円)

		第1四半期(+2日)			第2四半期(+1日)			第3四半期(±0日)			第4四半期(±0日)		
		金額	構成比(%)	前年同期比(%)	金額	構成比(%)	前年同期比(%)	金額	構成比(%)	前年同期比(%)	金額	構成比(%)	前年同期比(%)
売上高	予算	65,925	100.0	+7.8	64,535	100.0	+ 8.4	64,898	100.0	+ 7.7	69,732	100.0	+ 6.4
	実績	65,983	100.0	+7.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-
売上総利益	予算	13,653	20.7	+6.0	13,378	20.7	+ 7.1	13,480	20.8	+ 8.9	14,839	21.3	+ 3.0
	実績	13,234	20.1	+2.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
販売費及び一般管理費	予算	9,714	14.7	+3.4	10,209	15.8	+ 1.6	9,717	15.0	+ 5.9	10,010	14.4	+ 12.8
	実績	9,319	14.1	△0.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-
営業利益	予算	3,939	6.0	+12.9	3,169	4.9	+ 29.6	3,763	5.8	+ 17.6	4,829	6.9	△ 12.7
	実績	3,915	5.9	+12.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
経常利益	予算	3,981	6.0	+8.4	3,239	5.0	+ 30.8	3,818	5.9	+ 17.4	4,932	7.1	△ 12.9
	実績	3,972	6.0	+8.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
親会社株主に帰属する 四半期/当期純利益	予算	2,719	4.1	+7.3	2,213	3.4	+ 29.0	2,611	4.0	+ 17.6	3,377	4.8	△ 18.7
	実績	2,675	4.1	+5.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【連結】四半期ごとの実績・予算(累計)

令和5年(2023)12月期 第1四半期【累計】

(単位:百万円)

		第1四半期(+2日)			第2四半期(+3日)			第3四半期(+3日)			通期(+3日)		
		金額	構成比(%)	前年同期比(%)	金額	構成比(%)	前年同期比(%)	金額	構成比(%)	前年同期比(%)	金額	構成比(%)	前年同期比(%)
売上高	予算	65,925	100.0	+7.8	130,460	100.0	+8.1	195,358	100.0	+ 8.0	265,090	100.0	+ 7.6
	実績	65,983	100.0	+7.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-
売上総利益	予算	13,653	20.7	+6.0	27,031	20.7	+6.5	40,511	20.7	+ 7.3	55,350	20.9	+ 6.1
	実績	13,234	20.1	+2.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
販売費及び一般管理費	予算	9,714	14.7	+3.4	19,923	15.3	+2.5	29,640	15.2	+ 3.6	39,650	15.0	+ 5.8
	実績	9,319	14.1	△0.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-
営業利益	予算	3,939	6.0	+12.9	7,108	5.4	+19.8	10,871	5.6	+ 19.0	15,700	5.9	+ 7.0
	実績	3,915	5.9	+12.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
経常利益	予算	3,981	6.0	+8.4	7,220	5.5	+17.4	11,038	5.7	+ 17.4	15,970	6.0	+ 6.0
	実績	3,972	6.0	+8.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
親会社株主に帰属する 四半期/当期純利益	予算	2,719	4.1	+7.3	4,932	3.8	+16.0	7,543	3.9	+ 16.6	10,920	4.1	+ 2.8
	実績	2,675	4.1	+5.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【連結】3か年経営計画

投資計画の成果を見える化し、成果をより確実なものとするため3か年計画を策定しました。2026年のプラネット愛知の稼働を見据え、プラットフォーム戦略である「TRUSCO HACOBUne」をはじめとしたお客様の利便性向上につながる施策を実行し、本計画の達成を目指してまいります。

	第60期(2022)12月期			第61期(2023)12月期			第62期(2024)12月期			第63期(2025)12月期		
	実績 (百万円)	構成比 (%)	前年比 (%)	計画 (百万円)	構成比 (%)	前年比 (%)	計画 (百万円)	構成比 (%)	前年比 (%)	計画 (百万円)	構成比 (%)	前年比 (%)
売上高 (百万円)	246,453	100.0	+8.6	265,090	100.0	+7.6	284,000	100.0	+7.1	304,200	100.0	+7.1
売上総利益率(%)	21.2	-	+0.2	20.9	-	△0.3	20.9	-	±0.0	20.9	-	±0.0
販売費及び一般管理費(百万円)	37,493	15.2	+8.1	39,650	15.0	+5.8	41,500	14.6	+4.7	43,500	14.3	+4.8
(内 減価償却費) (百万円)	6,667	2.7	△3.8	6,397	2.4	△4.1	6,115	2.2	△4.4	5,239	1.7	△14.3
営業利益 (百万円)	14,667	6.0	+12.8	15,700	5.9	+7.0	17,800	6.3	+13.4	20,100	6.6	+12.9
経常利益 (百万円)	15,065	6.1	+11.1	15,970	6.0	+6.0	18,200	6.4	+14.0	20,500	6.7	+12.6
当期純利益 (百万円)	10,626	4.3	△8.4	10,920	4.1	+2.8	12,417	4.4	+13.7	13,987	4.6	+12.6
1株当たり当期純利益	161円15銭	-	△14円17銭	165円60銭	-	+4円45銭	188円11銭	-	+22円51銭	211円90銭	-	+23円79銭
1株当たり配当金	40円00銭	-	+4円50銭	41円50銭	-	+1円50銭	47円50銭	-	+6円00銭	53円00銭	-	+5円50銭
ユーザー様直送個口数(個口)	3,556,388	-	+25.4	4,400,000	-	+23.7	5,300,000	-	+20.5	6,300,000	-	+18.9
MROストッカー導入数(件)	775	-	+446	1,000	-	+225	1,500	-	+500	2,000	-	+500
在庫アイテム数(SKU)	562,026	-	+62,062	595,000	-	+32,974	645,000	-	+50,000	695,000	-	+50,000
トラスコ オレンジブック.Com 公開アイテム数(SKU)	3,167,188	-	+406,301	4,200,000	-	+1,032,812	5,400,000	-	+1,200,000	6,600,000	-	+1,200,000
主な投資・取組み	・「荷合わせ」と「ユーザー様直送」の取組み強化			・ユーザー様の購買システムと連携(MROストッカー2.0)			・商品データベースを大幅強化(Sterra2.0)			・商品の選定～到着まで一連の体験価値提供(ECクロス)		
	・「MROストッカー」、「直治郎」のPR強化			・類似品検索機能			・得意先様の業務効率化/利便性向上(オレンジブック.Com2.0)			・庫内マネジメントの高度化(GWES)		

「ありたい姿」—能力目標—

01 2030年までに在庫100万アイテムを保有できる企業になりたい。



02 1日24時間受注、1年365日出荷できる企業になりたい。

03 欠品、誤受注、誤出荷のない企業になりたい。

04 棚卸作業のない企業になりたい。
(2022年末時点 棚卸差異率:0.43%)

05 問屋であってもユーザー様直送をストレスなくできる企業になりたい。

06 お見積りに瞬時にお応えできる企業になりたい。
(2022年12月末時点の見積自動回答率:22.6%)

07 業界「最速」「最短」「最良」の納品を実現できる企業になりたい。

08 可能な限り環境負荷の小さい企業になりたい。

09 リサイクル、リユース、リターナブルにも積極的な企業になりたい。
(修理工房「直治郎」2022年度実績:18億17百万円)

10 日本のモノづくりを支えるプラットフォームになりたい。

11 業界の常識、習慣、定説、定石を塗り替えることのできる企業になりたい。

07

ESG情報

TRUSCO「やさしさ、未来へ」プロジェクト

サステナビリティに関する指標

その他、環境に関係する施策や取組

社会との関わり・コーポレートガバナンス

TRUSCO「やさしさ、未来へ」プロジェクト

TRUSCO「やさしさ、未来へ」プロジェクト

当社では、「私たちの小さな小さな取り組みが、未来の大きな思いやりにつながるよう、地球に優しい企業を目指します」という思いから、1998年に「やさしさ、未来へ」という環境理念を掲げ、さまざまな環境への取り組みを行ってきました。

サステナビリティという言葉が広まる20年以上前から、地球社会を未来へつないでいくという考えが会社に根付いてきているのです。

これまで、「やさしさ、未来へ」は環境のみを指す言葉でしたが、これからは、TRUSCO「やさしさ、未来へ」プロジェクトとして地球環境も含めたヒトと社会の未来へ向けた取り組みを行っていきます。

「やさしさ、未来へ」基本方針 ～TSV～

「人や社会のお役に立てこそ事業であり、企業である」というところざしのもと、事業を通じて社会価値と企業価値の両方を生み出すこと(TSV※)で、社会課題の解決や持続可能な地域社会へ貢献します。

※TSVはTRUSCO+CSV(Creating Shared Value: 共有価値の創造)から命名しています。

この基本方針のもと、ヒトと社会の未来へ向けた取り組みを行っていきます。



詳細はこちら

サステナビリティに関する指標

CO₂排出量(2022年末時点)

燃料の使用におけるCO₂排出量(Scope1) 2,327t-CO₂ / 電気の使用におけるCO₂排出量(Scope2) 8,109t-CO₂

サプライチェーンにおけるCO₂排出量(Scope3※) 1,724,759t-CO₂ ※ Scope3 のみ2021年の実績となります。

各種サービスによるCO₂排出削減量

年間CO₂排出削減量 11,365t-CO₂(前年比+1,806t-CO₂)



サービス	年間CO ₂ 排出削減量	1個口/台/アイテムあたり CO ₂ 排出削減量	実績(2022)
ユーチョコ(ユーザー様直送)	1,002t-CO ₂	0.28kg-CO ₂	355万個口
ニアワセ(荷物合わせ)	165t-CO ₂	0.22t-CO ₂	75万個口
MROストッカー	3,100t-CO ₂	4t-CO ₂	775件
固定費型物流	3,098t-CO ₂	—	—
在庫保有	1,300t-CO ₂	2.6kg-CO ₂	約50万アイテム
修理工房「直治郎」	2,700t-CO ₂	—	—

サステナビリティに関する指標

トラスコ発電所(太陽光、風力発電) 19か所

2022年 年間発電量 2,653,344kWh

再生可能エネルギー電力自給率 16.4%

「TRUSCO」商品の環境対応

商品企画開発において環境基準を定め、製品設計から商品の使用、廃棄に至るまでの各側面から環境に配慮した商品開発を進めています。既存の商品についても、積載効率の向上や容器梱包に使用する資源の削減を進めています。



TRUSCO Air Forest For Factory 品番:AFF250など

切削油の劣化したにおい等、工場特有のにおい成分を消臭する工場専用消臭剤です。北海道トドマツの森の間伐材を有効活用した「機能性樹木抽出成分」を配合しており、未利用のまま森に残されていた間伐材を活用することで「循環型社会」に貢献する商品です。



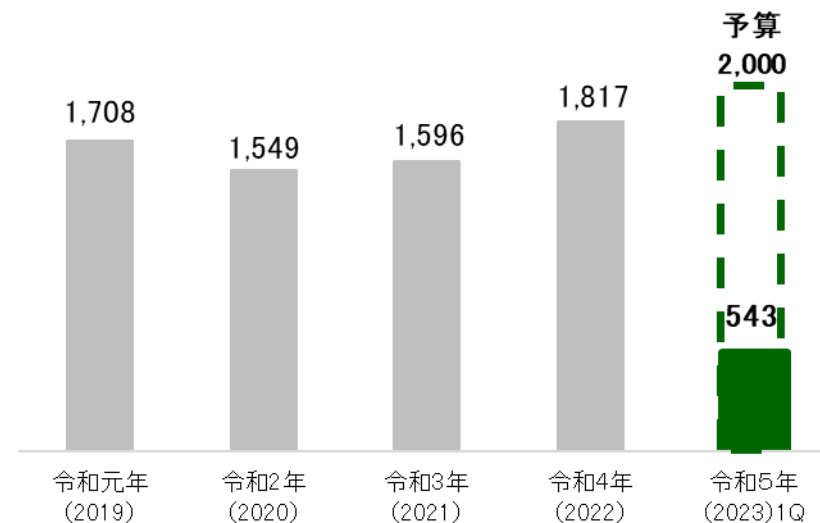
修理工房「直治郎(なおじろう)」の役割

プロツールに欠かせない安全性や精度を維持し、使い慣れた工具・設備等を長く使うことで環境負荷を抑えるとともに、コスト削減に貢献することを目的としたサービスです。2022年1月からは直治郎課を再設し、サービスの浸透・向上に努めます。

修理工房「直治郎」8つのサービス

修理	再研磨	校正	リユース
加工	メンテナンス	組立	施工・設置

修理工房「直治郎(なおじろう)」売上高 (単位:百万円)



その他、環境に係る施策や取組

環境への取組みは「いつからやっているか」が重要です。
 当社では、20年以上前から、社屋から一人ひとりの社員、事業施策、商品開発まで多岐に渡って、「やさしさ、未来へ」の想いのもと、環境に配慮した取組みを行っています。



設備		人
シーリングファン取付	空気井戸ボイド	フリースジャンパー(2002)
人感センサー付蛍光灯	サンドイッチパネル	ゴアテックスジャンパー(2002)
W折板屋根	井戸水の屋根散水(2007)	ネックウォーマ、ひざ掛け(2012)
地下冷気の利用	太陽光パネルの設置(1998)	退社30分前エアコンオフ
施策		商品
在庫化による残業削減	FAX OCR「ドットクル」(2000)	2インチ紙管テープ
物品受領書の廃止(2001)	システム受注(2002)	ノンガススプレー
メーカーカタログの在庫	ピックアップリストの紙出力廃止(2012)	リターンクッション

社会との関わり・コーポレートガバナンス

一社提供テレビ番組「TRUSCO 知られざるガリバー」

「世界に誇る日本企業を紹介することで日本に誇りと活力を与えたい」という当社の想いを伝える一社提供番組です。毎回1社ずつ、日本企業の姿や想いをご紹介します。



NGO団体ペシャワール会への寄付

令和2年(2020)開始

干ばつが進行するアフガニスタンで、「百の診療所より一本の用水路」という思いから総合的農村復興事業の活動をするペシャワール会を支援するために寄付を行っています。



故・中村哲医師とアフガニスタンの職員

オープンジャッジシステム(OJS=360度評価)

上司だけでなく、同僚や部下からの様々な評価が行われる、当社独自の評価システムです。評価コメントをフィードバックし、各人の行動改革につなげる目的があります。

種類	回数	運営内容
人事考課OJS	年2回	同じ職場で働く従業員同士(上司、同僚、部下)でOJSを行い人事考課に反映させる
昇格OJS	年1回	その従業員を知る全社員で評価し、その結果を昇格などの人事の処遇に反映させる

平成15年(2003)開始

令和13年(2001)開始

※対象は役員を除く正社員とパートタイマーの全従業員。

取締役会(経営会議)

原則月1回開催する取締役会において意思決定を行っています。より広い視野と透明性を確保するために、執行役員、部長などの参加者からの意見を広く求める運用をしています。



2022年11月度取締役会(経営会議)の様子

08

参考情報

株式情報

業界での指数比較

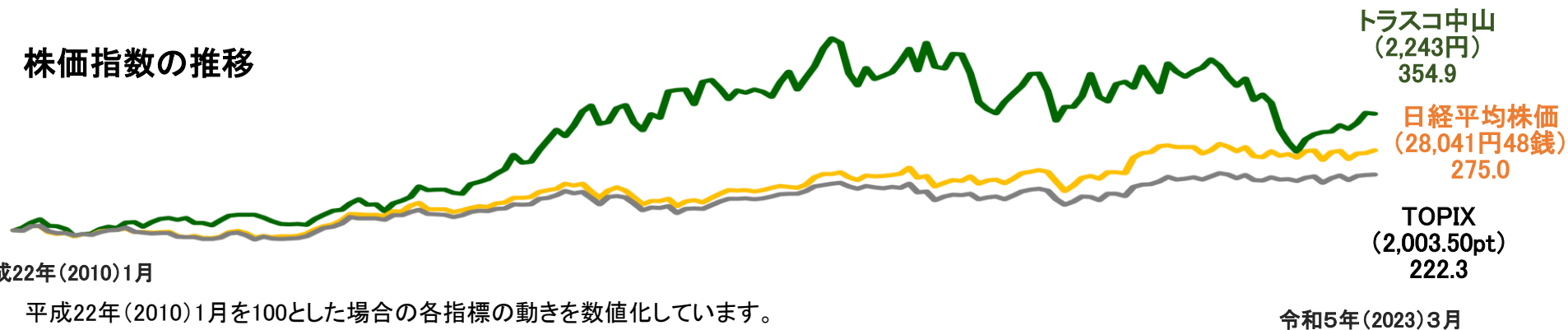
当社売上高指数・鋁工業生産指数

株式情報

株主情報（単位：名）

	令和2年 (2020) 6月末	令和2年 (2020) 12月末	令和3年 (2021) 6月末	令和3年 (2021) 12月末	令和4年 (2022) 6月末	令和4年 (2022) 12月末
株主合計	23,697	16,336	14,903	14,406	16,212	15,466
単元株主	22,887	15,514	14,030	13,527	15,190	14,436
単元未満株主	809	821	872	878	1,021	1,029
自己名義株式	1	1	1	1	1	1
金融機関・証券会社	64	65	69	61	59	55
国内法人	574	553	544	533	546	540
外国法人等	210	201	203	203	212	222
個人その他	22,848	15,516	14,086	13,608	15,394	14,648
自己名義株式	1	1	1	1	1	1

株価指数の推移



2023年4月24日(月)

当社株価 終値
2,235円

日経平均株価 終値
28,747円56銭

TOPIX
2,052.91pt

業界での指数比較

同業界の商社、直販企業(上場企業)の業績

【卸売】

		決算月		売上高(百万円)		時価総額 (億円)
					前年比	
(株)山善	2023年	3月	予想	530,000	+5.6	988
ユアサ商事(株)	2023年	3月	予想	490,000	+5.9	899
トラスコ中山(株)	2022年	12月	実績	246,453	+8.6	1,475
(株)日伝	2023年	3月	予想	130,000	+4.9	630
フルサト・マルカHD(株)	2022年	12月	実績	162,416	—	674
(株)NaITO	2023年	2月	実績	44,457	+ 1.9	87
杉本商事(株)	2023年	3月	予想	45,150	+4.7	233
7社合計		—		1,648,476	—	—

機械工具業界の商社には左記のような企業がありますが、卸売業・小売業で事業展開が異なり、それぞれ取扱う主力商品も異なっています。当社は工作機械などの大型機械の取扱いは無く、消耗品の取扱いが中心です。

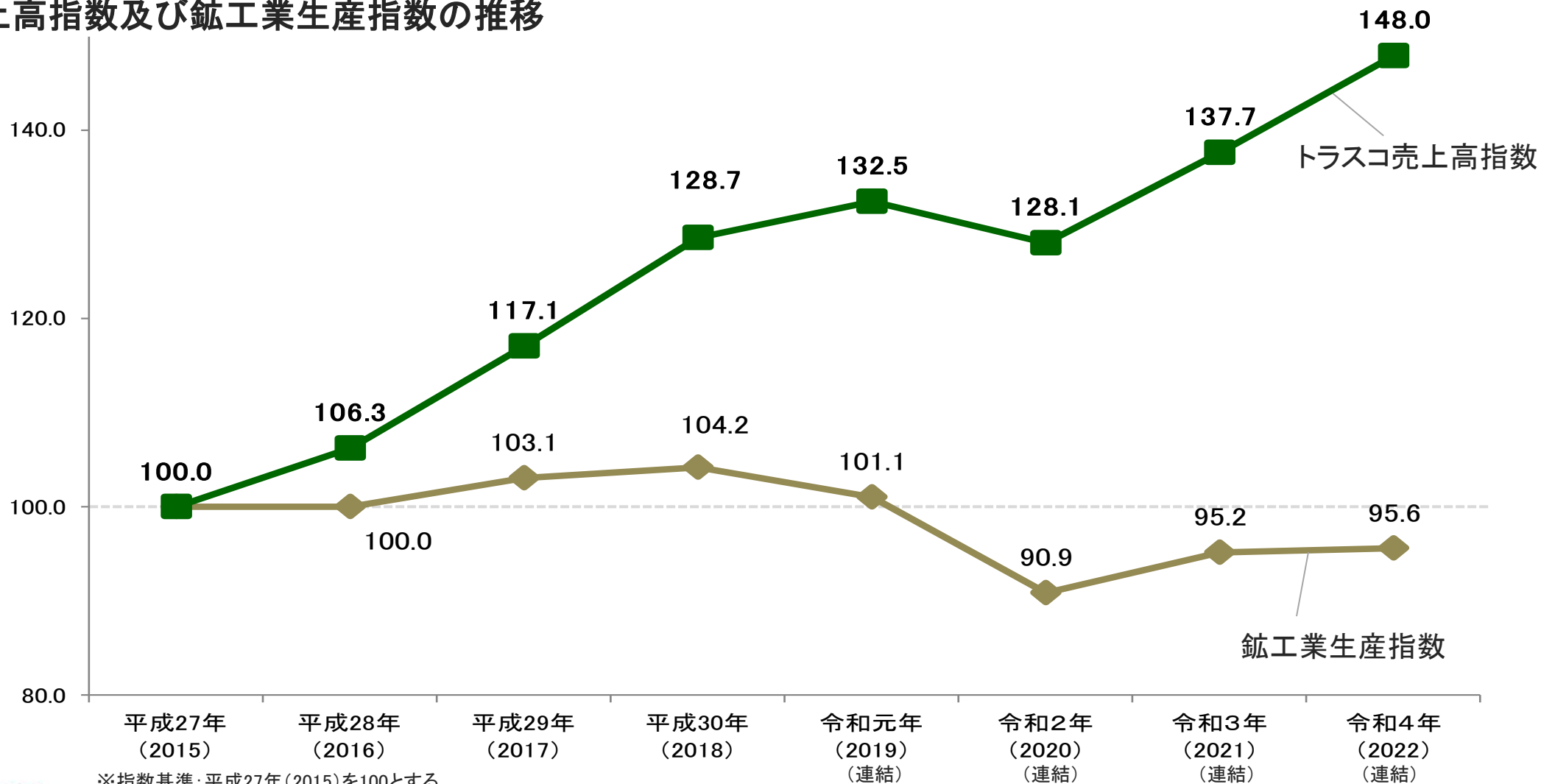
【小売】

		決算月		売上高(百万円)		時価総額 (億円)
					前年比	
(株)ミスミグループ	2023年	3月	予想	377,000	+3.0	9,337
(株)MonotaRO	2022年	12月	実績	225,970	+19.1	9,791
2社合計		—		602,970	—	—

※連結決算を発表している会社は連結決算の数値を記載しています。
 ※各数値は令和5年(2023)4月25日時点で公表されている実績及び予想を記載しています。
 ※時価総額は、令和5年(2023)4月24日終値にて記載しています。

当社売上高指数・鉱工業生産指数

当社売上高指数及び鉱工業生産指数の推移



※指数基準:平成27年(2015)を100とする。
※鉱工業生産指数は令和5年(2023)1月31日に経済産業省より公表された数値